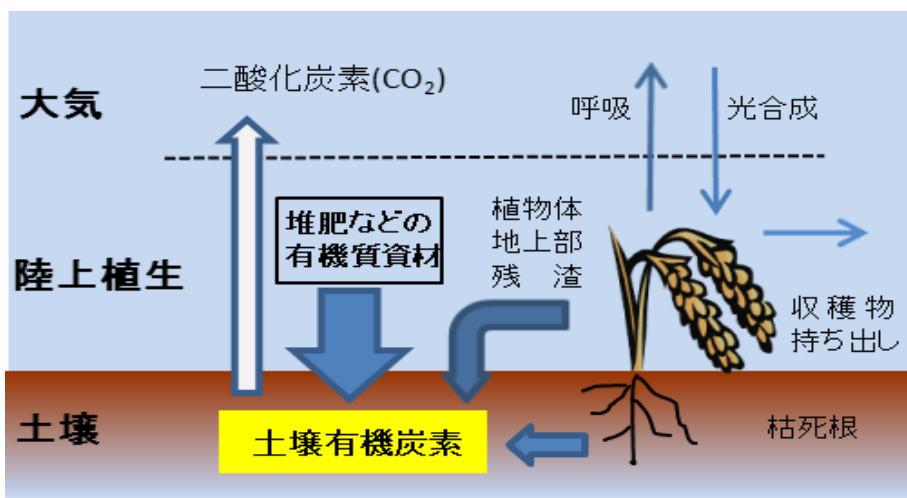


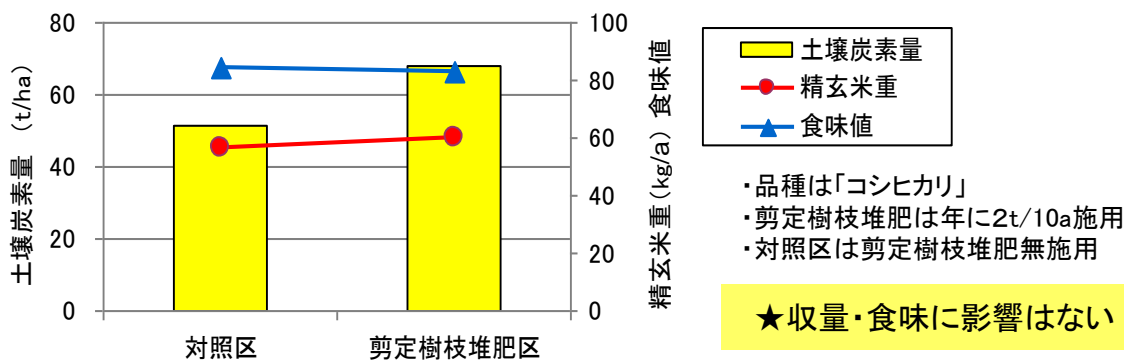
水田に炭素（堆肥）を貯留して温暖化防止 （農林センター）

- ・ 農地の土壌炭素貯留効果を明らかにしました。
- ・ 堆肥の施用により炭素貯留効果が高まり、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化防止に貢献できることがわかりました。

土壌炭素を増やすには、稲わらの還元や堆肥の施用が効果的。



水田に剪定樹枝堆肥を連用すると、土壌炭素貯留効果が高い。



5年間の剪定樹枝堆肥連用による炭素貯留効果と水稻の収量・食味(2012年)

- ・ 府内水田土壌の炭素量（30cm深）は、平成20～24年の平均で50t/ha。
- ・ 水稻栽培では、剪定樹枝堆肥を2t/10a施用することで炭素貯留量が増え、収量・食味への影響なし。

- ・ 本成果は、国連気候変動枠組み条約における温室効果ガス削減の国際交渉や、農地土壌の炭素と肥沃度増進のための施策に活用されています。
- ・ 農林水産省の環境保全型農業直接支援制度として、「炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用」が交付対象となっています。